

当時、東洋一の貨物操車場として川崎の産業を支えた新鶴見操車場。現在も多くの貨物列車が走る機関区として知られる一方、操車場の一部の跡地には新技術研究開発の拠点として新川崎・創造のもりが設置されています。アジア初の量子コンピューターが稼働するなど今も川崎の産業の「みらい」を支えています。

産業



昭和38年ごろ 新鶴見操車場



昭和40年ごろ 新鶴見操車場と小倉



AIRBIC



NANOBIQ



新鶴見操車場跡地



KBIC

緑

幸区には市内唯一の動物園がある夢見ヶ崎動物公園を始め、御幸公園やさいわい緑道など、区民から愛される緑あふれる場所がたくさんあります。季節によって変わる彩にこれからも区民の「憩い」の場所として、そこに生きていきます。



昭和50年ごろ 夢見ヶ崎動物公園



南河原公園 (年代不明)



夢見ヶ崎動物公園



夢見ヶ崎動物公園



南河原公園



御幸公園

絆

夏祭り、餅つき大会、区民祭など幸区には地域が作り上げるお祭りがたくさんあります。昔からの地域のつながり、そして人とのつながりの場として地元で根付いてきた「文化」がそこにはあります。



昭和41年ごろ 夏祭り



昭和41年ごろ 小向の獅子舞



小向の獅子舞



小倉神社ふれあい朝市



幸区民祭



リレーカーニバル

まち

川崎の産業化は幸区から始まりました。川崎駅西口にあった明治製糖川崎工場が、川崎市の工業化の端緒となりました。その後、東芝や明治製菓など多くの工場が建設され、多くの労働者が生きてきたまちでもあります。現在は大型商業施設やホテルが立ち並び、今も多くの人々が行き交う「新たなまちづくり」が進められています。



昭和20年代 東芝の堀川町工場
画像提供：東芝未来科学館



明治製糖の川崎工場 (年代不明)



ミュージア川崎



ソリッドスクエア



東芝未来科学館



ラゾーナ川崎プラザ